

平成29年度 小学部経営案

1 経営の視点（小学部目標）

日常生活に必要な基礎的能力及び心身の調和的な発達と自立につながる能力の育成を図り，児童一人一人の発達段階や特性に応じた指導の実践に取り組む。

2 重点施策（具体的方策）

- ・ 集団生活への参加に必要な基礎的態度や技能の育成に務める。 (A-1)
- ・ 家庭との連携を図り，日常生活に必要な身辺処理能力，国語・算数を基本とした基礎的能力の育成に努める。 (A-6)
- ・ 中学部・高等部，大学や専門機関との連携を図り，自立活動の実践，充実した授業づくりの研究・実践に取り組む。 (C-1)

3 各指導の形態のねらい，内容及び指導体制

(1) 教科等を合わせた指導

① 日常生活の指導

- ・ ねらい 児童一人一人の実態に応じた身辺処理能力及び基本的生活習慣の育成を図る。
- ・ 内容 衣服の着脱，食事，排泄，清潔，保健，整理整頓などの指導。
- ・ 指導形態 学級中心（性差に応じた指導）。

② 生活単元学習

- ・ ねらい 生活に基づいた目標や課題を達成するため，具体的な経験を通して，生活に必要な知識や技能を養うとともに，自立的な生活をするための基礎的能力と態度を育てる。
- ・ 内容 宿泊学習や校外学習などの行事単元，自然に触れ季節感を味わう季節単元，遊び，集会，調理，買い物学習，協働での活動，などの単元。
- ・ 指導形態 全学年合同，学級，また，必要に応じて1～3学年・4～6学年。

(2) 各教科別の指導

① 国語・算数

- ・ ねらい 日常生活に必要な国語・算数を基本とした基礎的な能力の育成と，個々の課題に取り組む学習態度の育成を図る。
- ・ 内容 児童の実態に応じた国語・算数の指導。
- ・ 指導形態 学級担任。

② 音楽

<1～3学年>

- ・ ねらい 歌や身体表現などの活動をとおり，友達や教師とかわりながら，音楽や身体を動かすことへの興味・関心をもてるようにする。
- ・ 内容 歌唱，身体表現，リズム遊び，リズム合奏などを組み合わせた内容。
- ・ 指導体制 学級担任。

<4～6学年>

- ・ ねらい 友達や教師と一緒にリズムや曲調を感じながら，歌や身体表現，旋律楽器による合奏，鑑賞活動の楽しさを味わい，いろいろな音楽に関心を広げられるようにする。
- ・ 内容 歌唱，身体表現，鑑賞，器楽など。
- ・ 指導体制 学級担任。

③ 図画工作

<4～6学年>

- ・ねらい 様々な造形活動を通して、身近な材料や用具を親しみながら使うことで、表現する楽しさを味わうようにする。
- ・内 容 身近な材料を使った造形遊びや絵画，工作，鑑賞などの内容。
- ・指導体制 学級担任中心。

④ 体育

<1～3学年>

- ・ねらい 基本的な動きを主とした運動の経験を通して、体を動かすことを楽しみながら、健康で安全に生活するために必要な体の動きを育てる。
- ・内 容 歩く，走る，跳ぶ，投げるなど基本的な運動，いろいろな器具・用具を使った遊び
- ・指導体制 学級担任中心。

<4～6学年>

- ・ねらい 基本的な動きを組み合わせた運動の経験を通して、持久力や調整力を養い、健康の保持増進と体力の向上を図る。
- ・内 容 歩く，走る，跳ぶ，投げるなどの基本的な運動を中心とし，いろいろな器具，用具を使った運動。
- ・指導体制 学級担任中心に指導。

(3) 特別の教科

① 道徳

- ・ねらい 教師と児童及び児童相互の人間関係を深めるとともに、宿泊学習や交流及び共同活動などの豊かな経験を通して、児童の実態や経験に応じた基本的生活習慣，社会生活上のきまりを身に付ける。
- ・内 容 日常生活における活動など。
- ・指導体制 学級担任中心。

(4) 領域別の指導

① 特別活動

(ア) クラブ活動（4～6年）

- ・ねらい 集団活動の中で、児童の興味・関心のもてる活動をとおり、集団の一員としての自覚を深め、協力して主体的に取り組む態度を育てる。
- ・内 容 運動，音楽，ゲーム，集団歩行など。
- ・指導体制 学級担任。

(イ) 集会活動（全校集会・小学部集会）

- ・ねらい 集会の参加をとおり、集団の一員としての自覚を深め、望ましい人間関係を育てる。
- ・内 容 全校・学部での集会活動。
- ・指導体制 全学年編成。

(ウ) 交流及び共同学習（附属幼稚園交流，附属小学校交流，近隣小学校交流など）

- ・ねらい 附属幼稚園や附属小学校，近隣小学校などとの交流をとおり、共に活動する場を設定することで、社会性や豊かな人間性を育む。
- ・内 容 交流会，共同学習など。
- ・指導体制 全学年編成。

② 自立活動

- ・ねらい 個々の児童が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識，技能，態度及び習慣を養い，心身の調和的発達の基盤を培う。
- ・内 容 健康の保持，心理的な安定，人間関係の形成，環境の把握，身体の動き，コミュニケーションに関すること。
- ・指導体制 チームA (Autism) ， B (Body) ， C (Communication) ， M (Movement) の4チームからのアプローチ。個別あるいは小集団で，学級担任を中心。

4 週時程
別紙

5 週指導時数

指導の形態		教科等を合わせた指導		教科別の指導				特別の教科 道徳	領域別の指導		合計
				国語 算数	音 楽	図 画 工 作	体 育		自 立 活 動	特 別 活 動	
形態名	学年	日常生活の指導	生活単元学習								
低	1～3年	15.0 (14.0)	6.0	5.0	2.0		2.0	1.0	5.0		35
高	4～6年	15.0 (14.0)	6.0	5.0	2.0	2.0	3.0	1.0	0.5	1.5	35

※「特別の教科 道徳」は、「日常生活の指導」の時間を中心に教育活動全体を通して行う。